【特別の教科　道徳　指導略案】　　授業者　原田　美和

1　場所・単元名　　３年２組　教室　「一さつのおくりもの」（使用教科書：東京書籍）

2　内容項目・教材と評価の計画（全１時間）

内容項目Ｂ　主として人とのかかわりに関すること	①親切、思いやり
ねらい	①相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。（第３学年及び第４学年）
主体的に学習に取り組む態度	①相手のことを考えて親切にすることのよさについて考えようとしている。

	内容項目Ｂ　主として人とのかかわりに関すること　教材一覧と評価	
親切 思いやり	10　一さつの おくりもの　（本時）	（態①）
	24　六べえじいと さよ	（態①）
	27　やさしい人 大さくせん	（態①）
感謝	34　大通りのサクラなみ木）	（態①）
礼儀	1　あいさつをすると	（態①）
友情 信頼	8　いいち、にいっ、いいち、にいっ	（態①）
	22　たまちゃん、大すき	（態①）
	29　なかよしだから	（態①）
相互 理解	19　かしたつもり　×　もらったつもり	（態①）

3　「遊び活動」と「教科学習」のつながりを意図した本時のポイント（10の姿をもとに）





6「思考力の芽生え」
9「言葉による伝え合い」をもつ姿から、道徳を学習する姿へのつながり

［環境（教材）づくりと、援助の視点］

・「相手のことを考える」･･･低学年では「身近にいる人に温かい心で接する」という内容だが、中学年では「相手のことを思いやる」という内容である。相手のことを自分事として想像し、行動することに込められた思いをしっかりと考えさせたい。

・「自分ならどうするか」･･･お気に入りの絵本をおくるのか・絵本をおくらないのか、自分ならどうするのかを子どもたちに選ばせ、「なぜそう考えたのか」を交流して学習意欲を向上させたい。また、その際に多様な感じ方や考え方があることに児童が気づけるようにしたい。

・「親切なおこない」･･･幼児期の子どもたちは、「おもちゃや絵本を共有する経験」を通して、相手にも使いたい気持ちがあることに気づき始めている。本時では、幼児期の共有経験を想起させながら、「親切にしようと思うときは、どんなとき？」と問いかける。そこから、相手の立場や気持ちを考えて行動することが親切につながることに気付き、自分の生活を振り返りながら、身近な人に対して相手のことを考えた行動をしようとする意欲を高められるようにしたい。

4　本時の目標と学習過程　「一さつのおくりもの」

◎「相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする心情を育てる。」

<table>
<tr><th>時間
(分)</th><th>主な学習活動</th><th>「環境(教材)づくり」と「援助」の視点・評価</th></tr>
<tr><td>5</td><td>○親切について考える。めあてを確認する。</td><td>相手のことを考えて、親切にしたことはありますか？

・忘れ物した友だちに、貸してあげた。
・給食で並んでいるときに、友だちに順番をゆずった。(自分事)

親切にしようと思うとき　について考えよう</td></tr>
<tr><td>15</td><td>○「一さつのおくりもの」を読んで、話し合う。


・いちばんお気に入りの本だから、これだけはだめ。
・「ふかみどり村」の子どもたちは大雨で大変だろうな。(体験的活動)</td><td>クマタは、「貝がらのおくりもの」をおくると決めるまで、どんなことを考えたでしょう。
<table><tr><th>幼児期の遊び活動 ⇒</th><th>小学校の教科学習</th></tr><tr><td>自分が使っているおもちゃを友だちが使いたい時、友だちの読んでいる絵本を自分が読みたい時に、自分から声をかけたり、友だちを待ったりする姿。</td><td>みんなで使うものは、ゆずりあって使うと考えたり、使う順番をみんなで工夫して決めたりして、相手のことを考える姿。</td></tr></table>[環境(教材)づくり・援助]
相手のことを考えて、親切にできたり、できなかったりする場合の感じ方が多様であることを考えさせる。
・「クマタ」の気持ちを想像させ、いろいろな考え方を引き出すようにする。板書で視覚化して整理する。
評価規準
・態①(子どもたちの発言)</td></tr>
<tr><td>15</td><td>○ウサギのササエからお手紙をもらったクマタは、どんな気持ちだったでしょう。
・絵本をあげてよかったな。
・ササエちゃんがよろこんでくれてうれしいな。
・「ふかみどり村」のみんなが元気になってほしいな。
・ぼくの絵本を大切にしてほしいな！
・ササエちゃんのことを考えている。
・ふかみどり村のことを考えている。
・相手のことを思っているな。</td><td>クマタの「ああ……。」に続く言葉を考えて、伝え合いましょう。
・相手のことを考えて、親切にすることのよさについて、自分との関わりで考えて交流できるようにする。板書で視覚化して整理する。
評価規準
・態①(板書の記録)
みんなの考え方で、似ているところはあるかな？(学びを深める問い)
親切にしようするときは 相手のことを思うときなんだね。(本時のまとめ)</td></tr>
<tr><td>10</td><td>○ふりかえりをする</td><td>今日の学習を思い出して、「これから自分は、どのようなことができるか」について考えてみましょう。
評価規準
・態①(ふりかえりシート)</td></tr>
</table>